

和田委員提出資料

医療施設体系に関する国民の意識調査結果（第1報）

平成18年12月25日

NPO法人ヘルスケア・リレーションズ

1. 調査概要

- 診療所や地域医療支援病院、特定機能病院など様々な医療施設の役割や連携等に関する国民の意識や認知を把握するために、インターネットによるアンケート調査を実施した。
- 調査期間は2006年12月19日から22日までの4日間である。
- 本調査は、Yahoo!リサーチモニター登録者(54万4932名：2006年12月現在)のうち、20歳以上の一般市民を対象とした。モニターは若年層が多い為、平成17年患者調査の年齢階級別推計患者数にもとに依頼するモニターを年代毎に設定した。20～60代は通常回収率が40%なので、モニターをランダムに抽出し、調査協力を依頼した。70代以上は登録モニター数が少ないため、全モニターに連絡した。尚、今回は医療に関する調査なので、医療・福祉関係の職業に就いているモニターはどの年代においても依頼対象外とした。
- 2,633名に回答を依頼し1,270名より回答を得た。そのうち無効回答14名を除く、1,256名を分析対象とした。
- 回答者の性別は男性723(57.6%)、女性533(42.4%)であった。
- 全回答者のうち、597名(47.5%)が定期的に病院や診療所に通院しており、653名(52%)は定期的に通院はしていなかった。

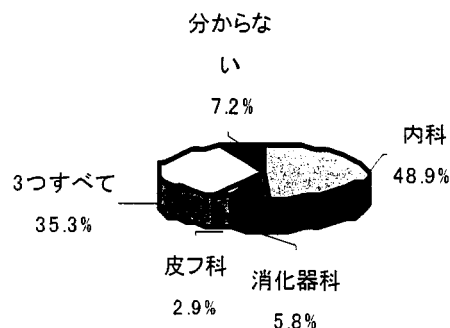
2. 自由標榜制に対する意識

- 複数の診療科(内科・消化器科・皮フ科)が標榜されている診療所の看板(写真1)を例示し、この診療所の専門について聞いた。



(写真1)

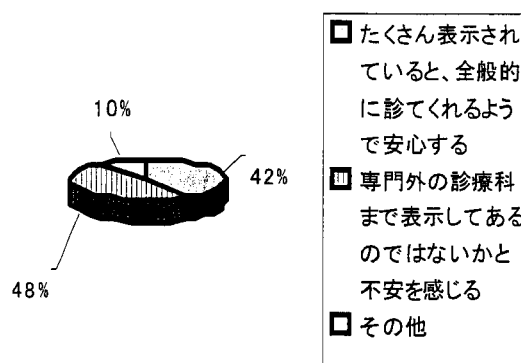
- 複数の診療科が標榜されている場合、「3つすべてが専門」と考えた人は35.3%に留まり、上位に掲げられた「内科が専門」と回答した人がほぼ半数を占めた(図1)。



(n=1256)

(図1)

- 複数標榜に対しては、「たくさん表示されていると、全般的に診てくれるようで安心する」(42%)が4割強いた一方で、「専門外の診療科まで表示してあるのではないかと不安を感じる」(47.6%)と回答した人もおよそ半数いた(図2)。
- 複数の診療科が標榜されている場合、「3つすべてが専門」と考えた人は複数診療科標榜に対して6割が安心感を抱いていたが、「内科のみが専門」と考えた人は、複数診療科標榜に対し、6割が不安を感じていることがわかった。(図3)
- 複数診療科標榜は、診療所の専門について曖昧なメッセージを發しており、国民はそれぞれ自分の印象に応じた解釈をしている可能性が示唆された。



(n=1256)

(図2)

	内科	消化器科	皮フ科	3つすべて	分からない	計
たくさん表示されていると、全般的に診てくれるようで安心する	211	23	8	268	18	528
	34.4	31.5	22.2	60.5	20	42
専門外の診療科まで表示してあるのではないかと不安を感じる	355	40	25	118	60	598
	57.8	54.8	69.4	26.6	66.7	47.6
その他	48	10	3	57	12	130
	7.8	13.7	8.3	12.9	13.3	10.4
計	614	73	36	443	90	1256
	100	100	100	100	100	100

(図3)

3. 専門医に対する認知

- 専門医については、「知っている」が51.2%、「知らない」が48.8%とほぼ二分された(図4)。
- 定期的に受診している回答者では、「知っている」が6割に達したのに対し、定期受診していない回答者では4割であった。
- 2002年から専門医資格が広告可能となったが、国民にとっては未だあまり馴染み深い存在ではない様子が示唆された。
- 今後、専門医の役割や活用方法等について、より積極的な情報提供を行うことが求められる。

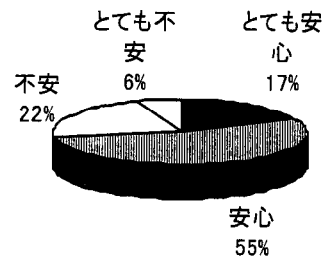


(n=1256)

(図4)

4. 診療所の振り分け機能に対する意識

- 「病院を受診する際に診療所からの紹介状が必要となる場合があること」について、「必要に応じて紹介してくれるので安心」と肯定的な回答が72%を占めた（図5）。
- 一方で、「紹介してくれるか不安」と回答した人も3割近くに上った。
- 今回の調査ではこの不安の背後にある理由までは追及していない。今後、その理由を調査し、不安を解消するための対策を提言したい。

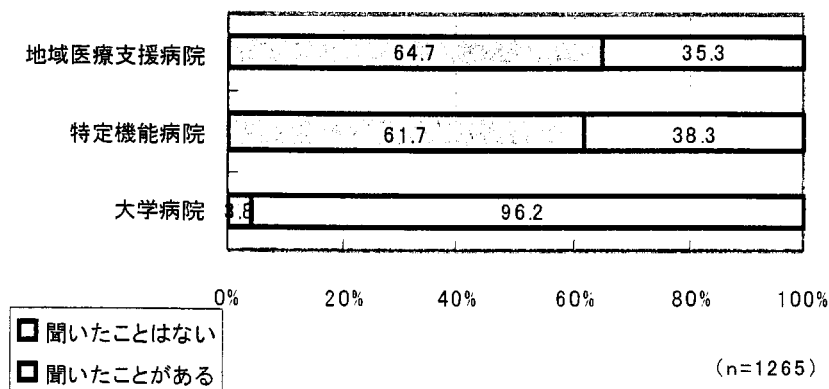


(n=1256)

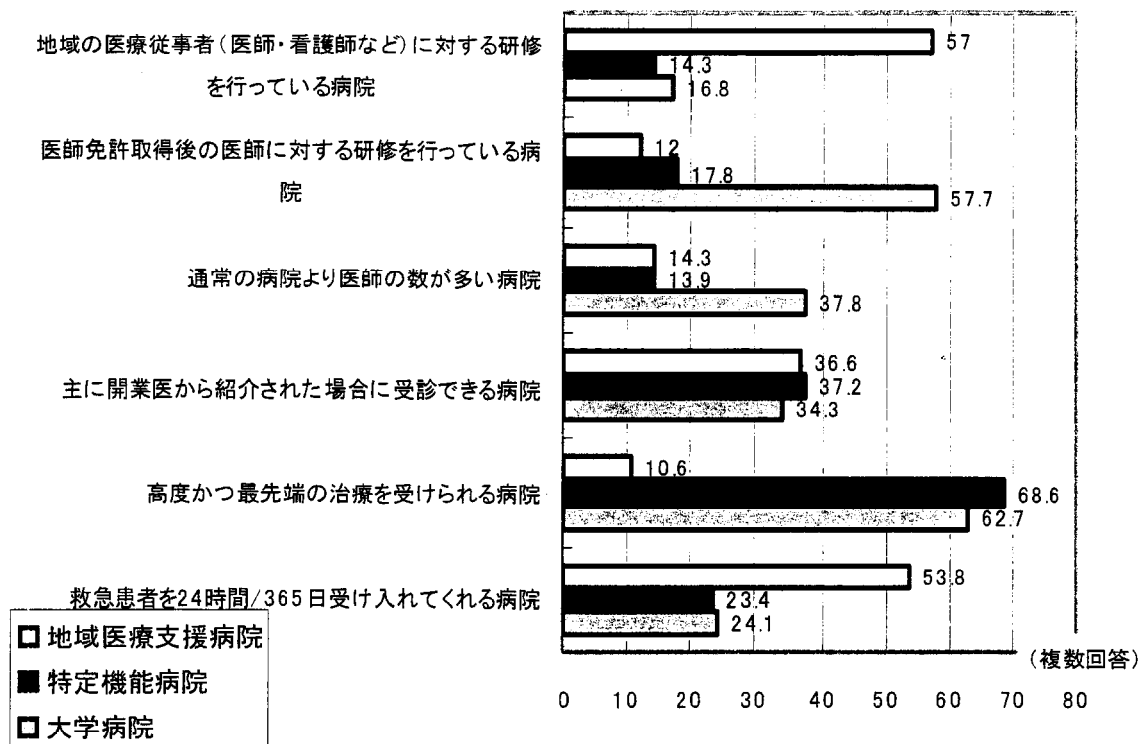
(図5)

5. 特定機能病院・地域医療支援病院および大学病院に対する認識

- それぞれの病院に対する認知度は、大学病院は96.2%と高いものの、特定機能病院（38.3%）、地域医療支援病院（35.3%）に関しては共に4割弱しかその言葉を聞いたことがないと回答した（図6）。
- 「地域医療支援病院」に対しては、過半数が「地域の医療従事者に対する研修を行っている病院」、「救急患者を24時間365日受け入れてくれる病院」であろうという印象を持っていた。（図7）。
- 「特定機能病院」と「大学病院」は、「高度かつ最先端の治療を受けられる病院」であろうという印象は同様であるが、特定機能病院に対しては、「開業医から紹介された際に受診できる病院」（37.2%）、「救急患者を受け入れる病院」（23.4%）という印象を持つ人が多いことが分かった。
- 一方、大学病院に対しては、「医師に対する研修を行う病院」（57.7%）、「医師数が多い病院」（37.8%）という印象を持つ人が多かった。
- 大学病院に対する印象と特定機能病院に対するそれとが必ずしも一致しないことから、「大学病院の多くが特定機能病院である」ということを知らない国民が、相当数にのぼるであろうことが示唆された。



(図6)



(図7)

6. 大学病院志向について

- 「自分が大学病院で診察を受ける必要があるかどうかは、素人に判断できないので受診するのはやむを得ない」と回答した人が37.2%と最多であった。
- 一方、「診療所や近所の病院で手に負えない場合、大学病院に紹介にされるのだから最初から受診する必要はない」と回答した人が33.3%を占めた。
- 大学病院の役割が両義的に受け止められており、その役割について、未だ国民から十分な理解が得られていないことが示唆された。

以上

医療施設体系に関する国民の意識調査結果

2006年12月25日現在

Q1 家の近くに新しい診療所が開院したと仮定します。看板には、「内科、消化器科、皮フ科」と書かれています。この診療所の専門について、当てはまるものと思われるものを選んでください。(回答は1つ)

注: 今回のアンケートでは、「診療所」とは、院長が一人で開業している自宅や最寄り駅周辺にあるような小規模な医療機関のことを指します。「クリニック」、「医院」と呼ばれるものも同じです。一方、「病院」とは、5、6以上の診療科が表示され、各科に複数の医師がおり、入院施設も備えているような大規模な医療機関のことを指します。

	n	%
内科	614	48.9
消化器科	73	5.8
皮フ科	36	2.9
3つすべて	443	35.3
分からない	90	7.2
計	1,256	100



さとうクリニック

- 内科
- 消化器科
- 皮フ科

Q2 写真のように、診療所の看板に複数の診療科が表示されているのを見て、あなたはどのように感じましたか。(回答は1つ)

	n	%
たくさん表示されていると、全般的に診てくれるようで安心する	528	42
専門外の診療科まで表示してあるのではないかと不安を感じる	598	47.6
その他	130	10.4
計	1,256	100

Q3 あなたは医師の中に、例えば「糖尿病専門医」のように、専門医資格をもった人がいることを知っていますか。(回答は1つ)

	n	%
知っている	643	51.2
知らない	613	48.8
計	1,256	100

Q4 診療所と病院とでは、それぞれ地域で果たす役割が異なるため、病院で受診する際は診療所からの紹介状が必要になることがあります。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(回答は1つ)

	n	%
診療所の医師が必要に応じて病院を紹介してくれるのでとても	217	17.3
診療所の医師が必要に応じて病院を紹介してくれるので安心	687	54.7
診療所の医師が必要に応じて病院に紹介してくれるか不安	279	22.2
診療所の医師が必要に応じて病院に紹介してくれるかとても不	73	5.8
計	1,256	100

Q5 あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。
(地域医療支援病院)

	n	%
聞いたことはない	813	64.7
聞いたことがある	443	35.3
計	1,256	100

(特定機能病院)

	n	%
聞いたことはない	775	61.7
聞いたことがある	481	38.3
計	1,256	100

(大学病院)

	n	%
聞いたことはない	48	3.8
聞いたことがある	1,208	96.2
計	1,256	100

Q6 それぞれの病院において、当てはまると思われるものを3つまで選択してください。

(地域医療支援病院)

	n	%
救急患者を24時間/365日受け入れてくれる病院	676	53.8
高度かつ最先端の治療を受けられる病院	133	10.6
主に開業医から紹介された場合に受診できる病院	460	36.6
通常の病院より医師の数が多いい病院	180	14.3
医師免許取得後の医師に対する研修を行っている病院	151	12
地域の医療従事者(医師・看護師など)に対する研修を行っている病院	716	57

(特定機能病院)

	n	%
救急患者を24時間/365日受け入れてくれる病院	294	23.4
高度かつ最先端の治療を受けられる病院	861	68.6
主に開業医から紹介された場合に受診できる病院	467	37.2
通常の病院より医師の数が多いい病院	175	13.9
医師免許取得後の医師に対する研修を行っている病院	224	17.8
地域の医療従事者(医師・看護師など)に対する研修を行っている病院	179	14.3

(大学病院)

	n	%
救急患者を24時間/365日受け入れてくれる病院	303	24.1
高度かつ最先端の治療を受けられる病院	787	62.7
主に開業医から紹介された場合に受診できる病院	431	34.3
通常の病院より医師の数が多いい病院	475	37.8
医師免許取得後の医師に対する研修を行っている病院	725	57.7
地域の医療従事者(医師・看護師など)に対する研修を行っている病院	211	16.8

Q7 大学病院で診察を受ける必要のないと思われる人が大学病院で受診していることについて、あなたはどのように思いますか。(回答は1つ)

	n	%
自分が大学病院で診察を受ける必要があるかどうかは、素人に判断できないので受診するのはやむを得ない	467	37.2
診療所や近所の病院で手に負えない場合、大学病院に紹介されるのだから最初から受診したほうが安心	116	9.2
診療所や近所の病院で手に負えない場合、大学病院に紹介にされるのだから最初から受診する必要はない	418	33.3
大学病院の医師が本来診るべき人に時間を割けなくなるので、紹介状がない人は受診すべきでない	226	18
その他	29	2.3
計	1,256	100

Q8 あなたは、どの程度の割合で病院や診療所で診察を受けていますか。(回答は1つ)

	n	%
現在、入院中である	6	0.5
定期的に通院している	597	47.5
定期的に通院はしていない(具合の悪いときだけ受診する)	653	52
計	1,256	100

Q9 診療所や病院に求めること、医療全般に関して、あなたが日頃感じていることなど、ご自由にお書きください。

(第1報では結果は割愛する)

Q10 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

	n	%
男性	723	57.6
女性	533	42.4
計	1,256	100

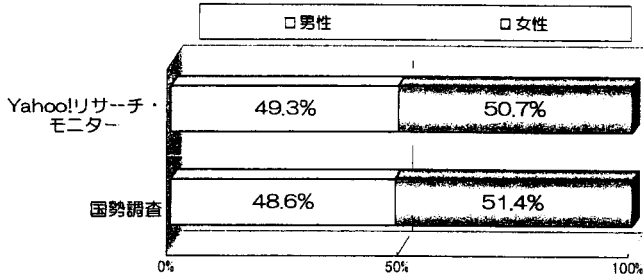
Q11 あなたの年齢をお答えください。(数字入力)

	n	%
20代	56	4.5
30代	91	7.2
40代	96	7.6
50代	193	15.4
60代	308	24.5
70歳以上	512	40.8
計	1,256	100

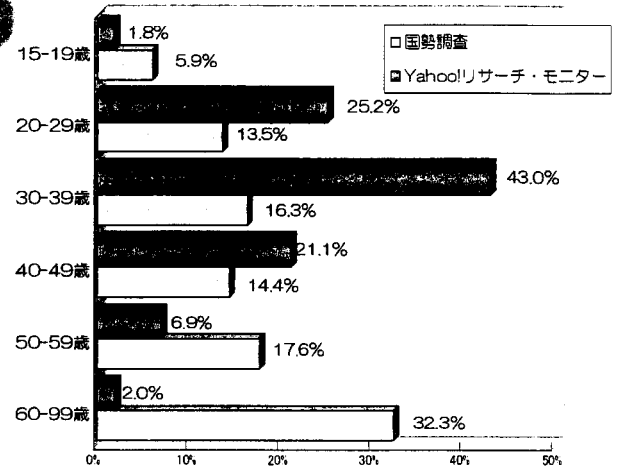
Yahoo!リサーチ・モニターと国勢調査の比較

国勢調査：平成17年調査

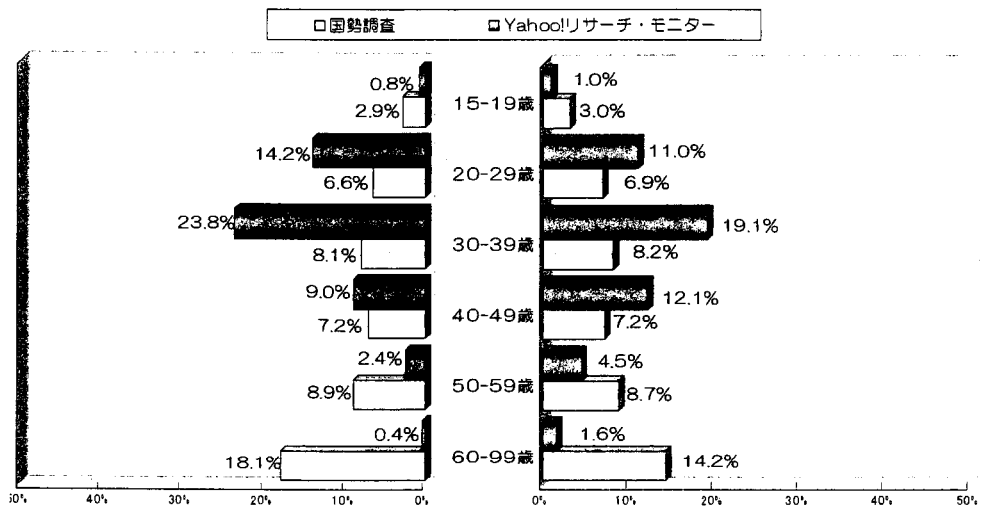
性別



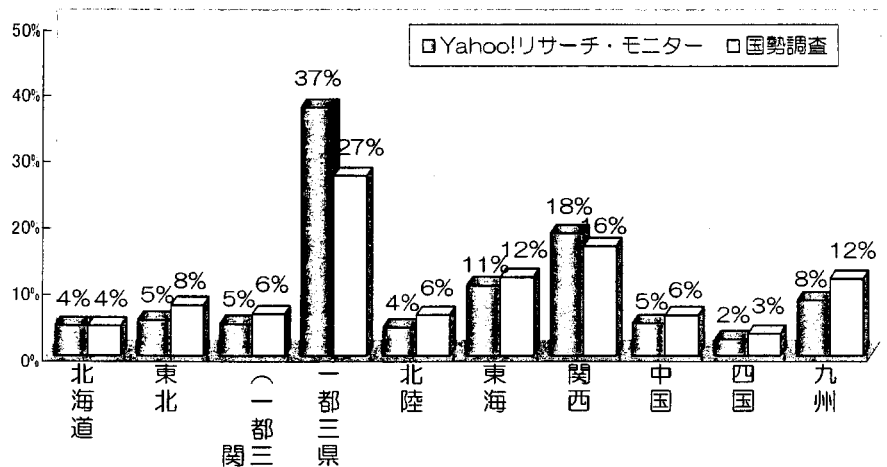
年代



男女年代



地域



* 地域分けはYahoo!リサーチ・モニターの地域区分に順する